

「ブルーボトルコーヒー豊洲パークカフェ」内覧会

月報委員会
委員長 深谷 昇

8月23日(金) 豊洲公園に「ブルーボトルコーヒー豊洲パークカフェ」がオープン致しました。その前日に内覧会があり何の因果か、カフェと呼ばれるものに行ったことのないオヤジ2人が行ってきました。行きの中「カフェってなんだ？喫茶店は学生時代行ってたなあ」「名曲喫茶とか歌声喫茶とか同伴喫茶とかジャズ喫茶とかいろいろ有ったよねえ」「ウイーンとかミロとかヴェローチェとかシャノールとか談話室滝沢とかチェーン店も有ったよねえ」こんなオヤジ2人組が最先端カフェ訪問です。

コンセプトは「ボーダーレス」境界線がないという店づくり。ブルーボトルコーヒーが、建物の設計から手掛けるのは世界初とのこと。どこに建てようか？海沿い？橋の横？といろいろ考えて最終的に選んだのは公園の入り口付近。山崎元江東区長がここに建てると公園の壁に成るからと反対していたと聞いた。しかしこの建物は良くできている。木造軸組工法・SE工法を駆使し、壁はガラスの素通し、開放的で明るい。床はレンガ張りで公園の芝生と高低差が無い。外から中に違和感なく出入りできる設計に成っている。テラス席も有って、犬の散歩に来た人や子供連れのお母さんも休めるスペースも有る。



ブルーボトルコーヒー豊洲パークカフェ

公園との一体化がなされたデザインを体感しました。椅子に座って外を眺めると緑の芝生でサッカーをしている少年、背景はきらきら輝く海と素晴らしい眺めにうっとりしますよ。しかしカフェ初体験のオヤジ2人組コーヒー頼むのにも四苦八苦、メニューを出されて目がチカチカ、見た事のない単語が並んでいてオタオタ。店員さんに誘導されて「ホットにしますかアイスにしますか、こちらのコーヒーだとコーヒー豆は3種類から選べますよ」「いやあー選べと言われても分からないし」ってな始末。オーダーを決めるのに5分も掛かり店員さんに促されデザート？お菓子？なんて言うか知らんけど、甘いものまで頼んでしまった。防犯ブザーみたいな物をもらい「これが鳴ったらコーヒーが出来上がりです」「振動したらデザート？(甘いもの)の出来上がりです」と案内され、それが鳴ったとたん慌てふためきオロオロ。振動してビックリ アタフタ。名前を呼ばれ取りに走る(3m



芝生広場と東京湾が望めるカフェエリア。外には景色を楽しむ理事長



おしゃれな店内



テラス席の一角



トイレに設置された木製ベビーチェア



LATTE



シーズナルパフェ 891 レモンパイとワッフルプレートレモンバター



次期社長エリック・ジェンキンス氏と



庄司理事長と次期社長エリック・ジェンキンス氏

次期ブルーボトル社長 ERIK JENKINS氏
(外国人が日本語しゃべると良い人に思えるのはなぜでしょう)

くらい) ニッコリ笑う店員さんにホットする始末です。これが内覧会でなければ店員さんもニッコリしてくれるか疑問ですが、個人的にはカフェ初体験。けっこう楽しかった。是非読者の皆様も行って下さい。ポンコツオヤジにデザート(甘いもの)はツライですが、きっと写真を撮ったら映えますよ。

ブルーボトルコーヒー豊洲パークカフェ

東京都江東区豊洲2-3-6 豊洲公園内ブルーボトルカフェ

営業時間8:00~19:00

席数64席(店内24席/テラス席40席)

設計 スキーマ建築計画 長坂 常

建築主 物林株式会社

施工 株式会社長谷萬カスタムホームズ事業本部